

## ご質問等への回答

### 1 ワークショップの進め方について

- 数年前に山田地域の宿泊施設は閉鎖するということになり、反対署名をもって富山市を訪ねたことがある。結果的に牛岳温泉健康センターを残すこととなったが、そのような経験があるので、市に意見を出しても反映されるのかと疑問である。

#### 【回答】

今回のワークショップでは、計画の初期段階から住民の方にご参加いただき、地域性等を考慮し、地域にとって本当に必要な機能や施設を議論していただきたいと考えており、そこでいただいた意見を踏まえて、地域別実行計画を策定することとしていますので、自由に意見を発言していただければと思います。

- 時間内ですべての施設について検討することができるのだろうか。グループごとに施設を分担して検討していくということではないのか。
- 時間的なこともあり、個々の意見を聞けない（発表されない）ため大変だったと思います。自分は言えましたが、もう一度聞いていける時間があればと思いました。（ふりかえりシートより）

#### 【回答】

本ワークショップでは、参加者全ての方々に同じ条件で、4つのステップごとに検討を進めていただくことにしており、第1回ワークショップでは、地域のまちづくりや公共施設の状況についてご理解いただくため丁寧な説明を心掛けましたが、第2回以降は、施設の用途別により具体的な検討を進めていくことにしており、できるだけグループ討議の時間をとれるように配慮します。また、ふりかえりシートもご活用いただければと思います。

- 施設の現状を知り、地域の本日参加できなかった人達にも何らかの形で知らせてほしい。大事なことは、本日のことを各地域に持ち帰り知らせること。これは市の方で？（ふりかえりシートより）
- もっと若い層にまちづくりについての意見が聞き取れるよう、アンケート調査等を実施してほしい。
- 他からも来れるようなまちづくりはないものか？若い人の意見もアンケート等で聞くのもいいのでは？地域の学校は、この後も残してほしい。（ふりかえりシートより）
- 若者の意見を聞くために若者へのアンケート実施する。（ふりかえりシートより）
- 今後を背負う年代の意見を聞いた方がよいといった意見が出た。（ふりかえりシートより）

**【回答】**

ワークショップに参加されていない方にもワークショップの進捗状況をお知らせするため、ニュースレターを作成し、全戸に配布します。

また、ワークショップで議論いただいた内容をパネルにまとめて展示・解説して、地域の皆様からご意見をいただく予定としています。開催場所については具体的に決まっていますが、多くの方が訪れる場所で開催したいと考えています。

現時点ではアンケートの実施は予定していませんが、ニュースレターやパネル展示・解説を通してワークショップの内容に関心を持っていただき、様々な世代の方からご意見をいただけることを期待しています。

- 地域外から山田地域に移住したいという人がいても家を建てる土地がないと思う。新たに住んでくれる人を受け入れられる環境をつくりたい。

【回答】

ワークショップでは、公共施設の再編について議論していただきたいと考えております。本市では、「富山市空き家等対策計画」を策定し、空き家利活用モデル事業の検討や空き家情報バンクの運営など、空き家の利活用を進めておりますので、このようなご意見があったことは担当課に伝えておきます。

- 過疎対策事業債がどのように使われているのか知りたい。

【回答】

今年度につきましては、観光客誘致活動支援事業（牛岳スノーフェスタ開催費等の補助）、市営コミュニティバス等運行事業、市道整備事業等に充当することとしています。

- 資料 1 の小学校の写真に児童館の写真が使われているのではないか。

【回答】

参考資料の「施設概要」についてのご意見かと思えます。山田小学校の説明部分に山田児童館が写りこんでいますが、山田小学校の HP より参考にさせていただいた写真になります。参加者の皆様に誤解を与える資料となってしまいましたが、施設ではなく、学校生活の様子を写した写真であり、今後はこのようなことがないように注意してまいります。

- 各施設の稼働率と一人あたりのコストの出し方が良く分からない。
- 施設概要（参考資料）のなかに利用者 1 人あたりのコストがあるが、ここに書いてある費用は、公民館の場合は、公民館で関わる電気、水道料金、職員の人件費、臨時職員の費用を利用者数で割った数字なのか。
- 施設概要（参考資料）で「1 人あたりのコスト」の欄と「コスト」の欄がある。違いはあるのか。指標が揃っていないので比較しづらい。

【回答】

（コストについて）

コストは、施設にかかるコスト（人件費、需用費（消耗品費、燃料費、電気・上下水道料金、修繕料等）、役務費（通信運搬費、手数料等）、使用料及び賃借料、委託料等）の合計金額から算出しています。

（利用者一人あたりのコストについて）

利用者一人あたりのコストは、施設にかかるコストを利用人数で割ったものです。

利用者一人あたりのコスト＝施設にかかるコスト／利用人数

（稼働率について）

稼働率は、施設の貸し出しスペースが十分に利用されているか評価する指標で、以下の式で算出しています。

稼働率＝（年間利用コマ数／利用可能コマ数）×100

利用可能コマ数は部屋ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸出可能な場合は、1部屋3コマと計上します。1時間単位での貸出の場合は、9:00 から 17:00 まで貸出可能であれば、1部屋8コマと計上します。また、工事等施設側の都合で部屋が使えなかった場合は、その期間のコマ数は利用可能コマ数から除外しています。

用途別に比較が可能な集会施設について掲載しています。